

企業経営実態調査結果

飯田市産業経済部工業課

1 調査概要

- (1) 調査期間 令和2年11月9日(月)～令和2年11月26日(木)
- (2) 調査目的 企業経営状況、雇用形態等を調査し、今後の施策に反映するため
- (3) 調査対象 製造業を中心に抽出した事業所32社に対して、担当職員が質問票及び企業訪問等によるヒアリングを実施。

―業種別―		―従業員別―	
工業系	21 (65.6%)	10人以下	0 (0.0%)
(精密・機器・電子・光学)		11人～30人	5 (15.6%)
食品系	7 (21.9%)	31人～50人	3 (9.4%)
その他	4 (12.5%)	51人～100人	13 (40.6%)
		101人～300人	4 (12.5%)
		301人以上	7 (21.9%)
計	32	計	32

- (4) 調査事項 I 売上(受注)高の状況、II 新型コロナウイルス感染症について
III 雇用について、IV 工場増設・設備投資等について、V その他

- (5) 回答結果 調査項目別結果のとおり
※端数処理により、合計は100%とならない。

2 調査項目別結果

I 売上（受注）高の状況

(1) 最近（10月）の月間売上（受注）高は、昨年の同期（10月）の月間売上（受注）高と比べてどのくらいとなっていますか。【有効回答数 29社】

売上（受注）高の状況は、対前年比で「増加」が13事業所（44.8%）、「減少」が16事業所（55.2%）である。全体として売上高増加の企業が増えている。昨年度の同時期は増税前の駆け込み需要の反動による影響で、10月の売上高が落ち込んでおり昨年度と比較した場合は、売上高増加と回答した事業所が多くなっている。ちなみに、平成30年度と比較した場合には売上高が減少している事業所が多い。

昨年度11月調査（10月売上）では、「増加」が8事業所（27.6%）、「増加・減少なし」が2事業所（6.9%）、「減少」が19事業所（65.5%）であった。

増加・減少割合	工業系	食品系	その他	計
～ 4割 増加				13 (44.8%)
～ 3割 増加	2	1		
～ 2割 増加				
～ 1割 増加	5	3	2	
増加・減少なし				0 (0.0%)
～ 1割 減少	3	1	1	16 (55.2%)
～ 2割 減少	4	1		
～ 3割 減少	3	1	1	
～ 4割 減少				
～ 5割 減少	1			

(2) 今後(12月)の月間売上(受注)高は、昨年の同期(12月)と比べて、どのくらいになると予想されますか。【有効回答数 29 社】

12月の売上(受注)高の予想は、対前年比で「増加」が9事業所(31.0%)、「減少」が20事業所(69.0%)となっている。工業系をはじめ、売上高の減少が見込まれる企業が多い。本年12月時の方が、売上高が減少する見込みの企業が増えている。昨年度は増税による売上高の落ち込みを懸念して減少と回答した事業所が多かった。今年度については、新型コロナウイルス感染症の影響で先行き不透明であるため、減少すると考えている事業所が多い。

昨年度11月調査では、「増加」が10事業所(34.5%)、「増加・減少なし」が2事業所(6.9%)、「減少」が17事業所(58.6%)であった。

増加・減少割合	工業系	食品系	その他	計
～ 5割 増加	1			9 (31.0%)
～ 4割 増加	1			
～ 3割 増加			1	
～ 2割 増加				
～ 1割 増加	4	2		
増加・減少なし				0 (0.0%)
～ 1割 減少	3	3	2	20 (69.0%)
～ 2割 減少	4	2		
～ 3割 減少	1		1	
～ 4割 減少	3			
～ 5割 減少	1			

(3) 今年(令和2年1月～12月)の年間売上高は、昨年と比べてどのくらいになると予想されますか。【有効回答数 27 社】

年間売上高の予想は、対前年比で「増加」が2事業所(7.4%)、「減少」が25事業所(92.6%)となっている。

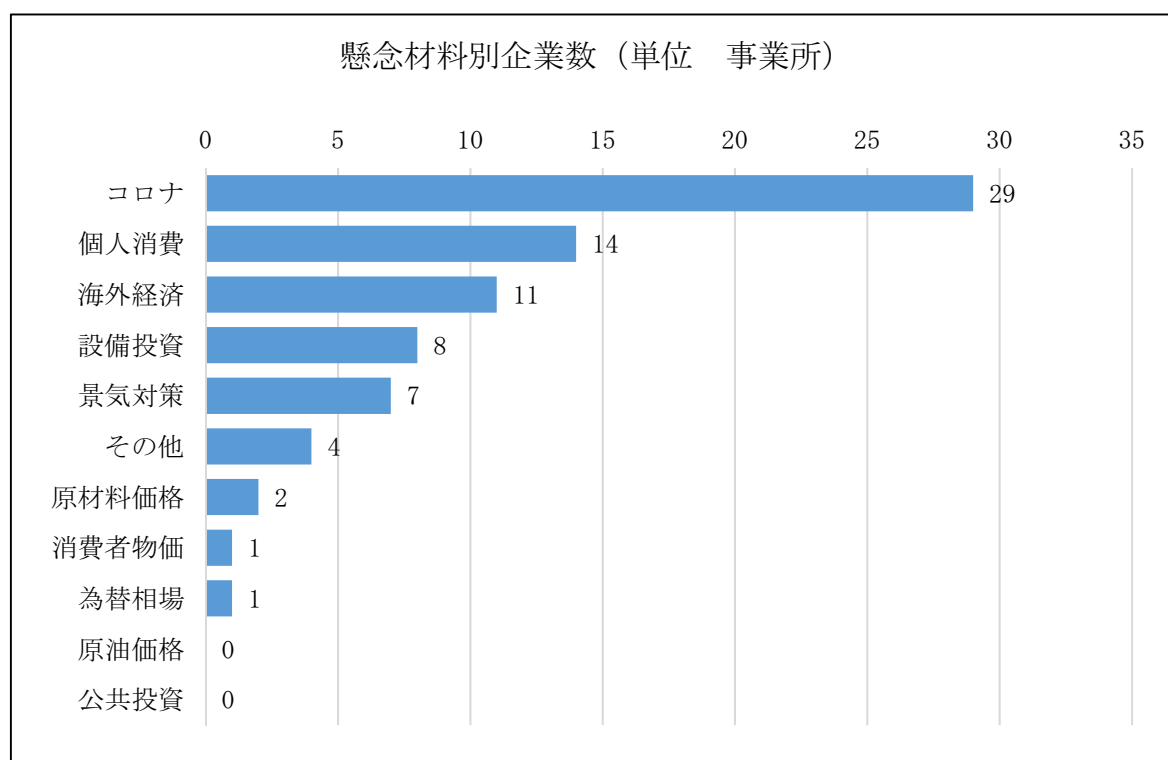
昨年度11月調査では、「増加」が9事業所(31.0%)、「増加・減少なし」が2事業所(6.9%)、「減少」が18事業所(62.1%)であり、今年度年間売上は前年度と比較して減少すると回答した企業の比率が約3割増えている。

増加・減少割合	工業系	食品系	その他	計
～ 2割 増加			1	2 (7.4%)
～ 1割 増加	1			
増加・減少なし				0 (0.0%)
～ 1割 減少	5	4	2	25 (92.6%)
～ 2割 減少	5	1		
～ 3割 減少	5	1	1	
～ 4割 減少	1			

(4) 2～3か月先の業績における動向の懸念材料について、あてはまるものについて3つまでお答えください。【有効回答数 32 社】

2～3か月先の業績における動向の懸念材料については、「コロナ」が最も多く、続いて「個人消費」、「海外経済」となった。「個人消費」及び「海外経済」についても新型コロナウイルスによる個人消費の落ち込みや昨年度からの米中摩擦による影響を懸念する声も出ている。

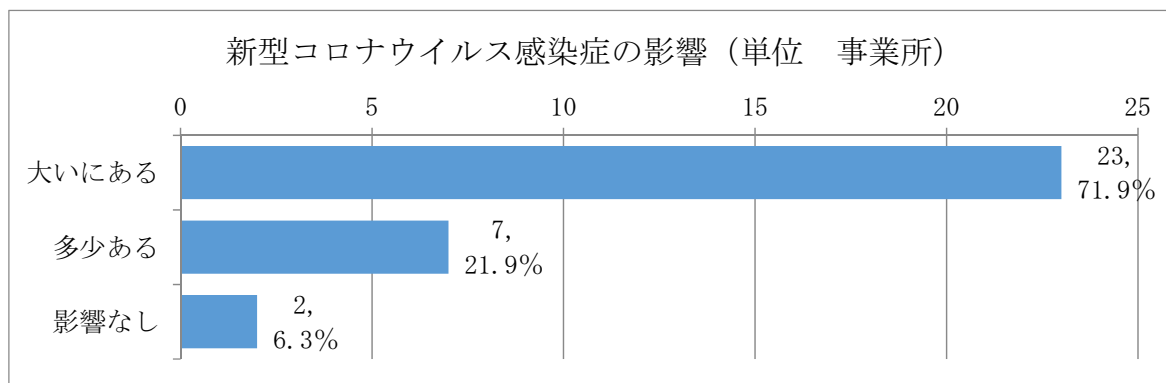
昨年度11月調査では、「海外経済」が最も多く、続いて「原材料価格」、「個人消費」、「設備投資」、「為替相場」であった。



II 新型コロナウイルス感染症について

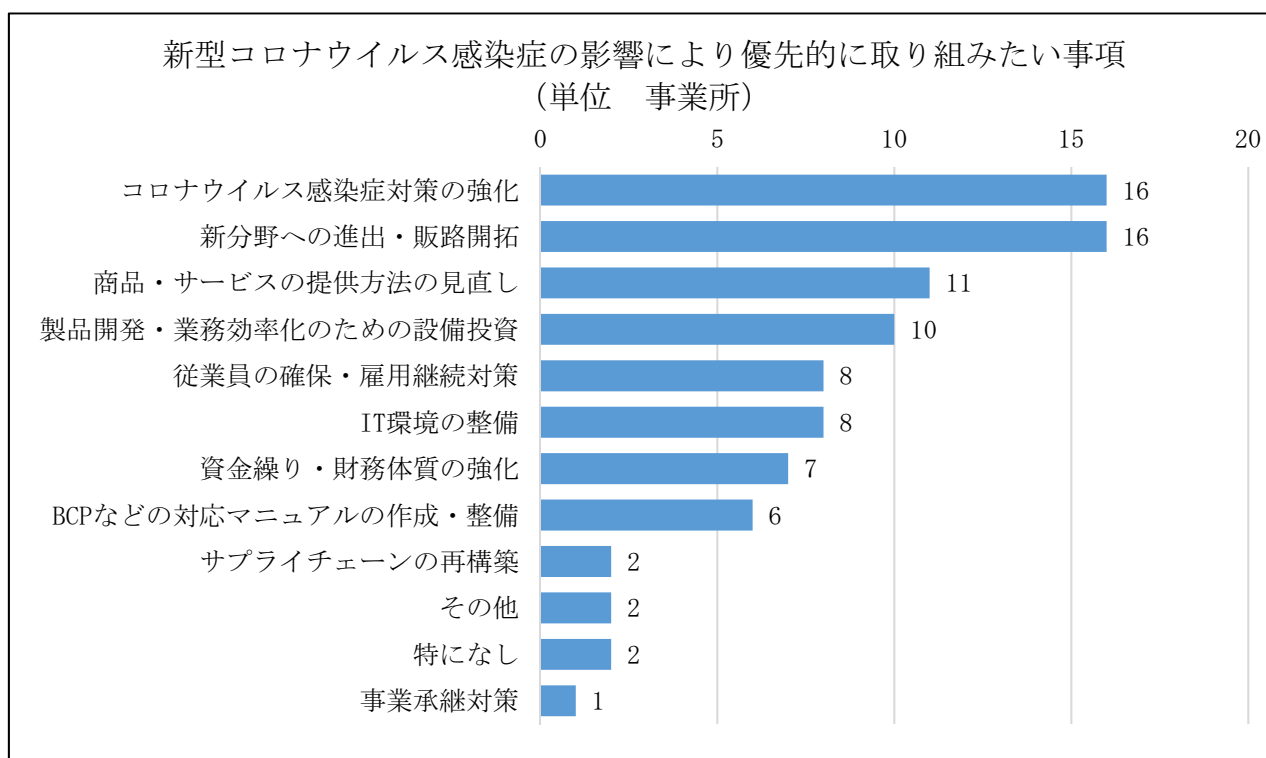
(1) 長期化が見込まれる新型コロナウイルス感染症の影響について、現在の状況を教えてください。【有効回答数 23 社】

新型コロナウイルス感染症の影響について「大いにある」が 23 事業所 (71.9%)、「多少ある」が 7 事業所 (21.9%)、「影響なし」が 2 事業所 (6.3%) であった。様々な業種において、新型コロナウイルス感染症の影響を受けていることが確認された。



(2) 新型コロナウイルス感染症の影響により優先的に取り組みたい事項はありますか。【有効回答数 32 社】

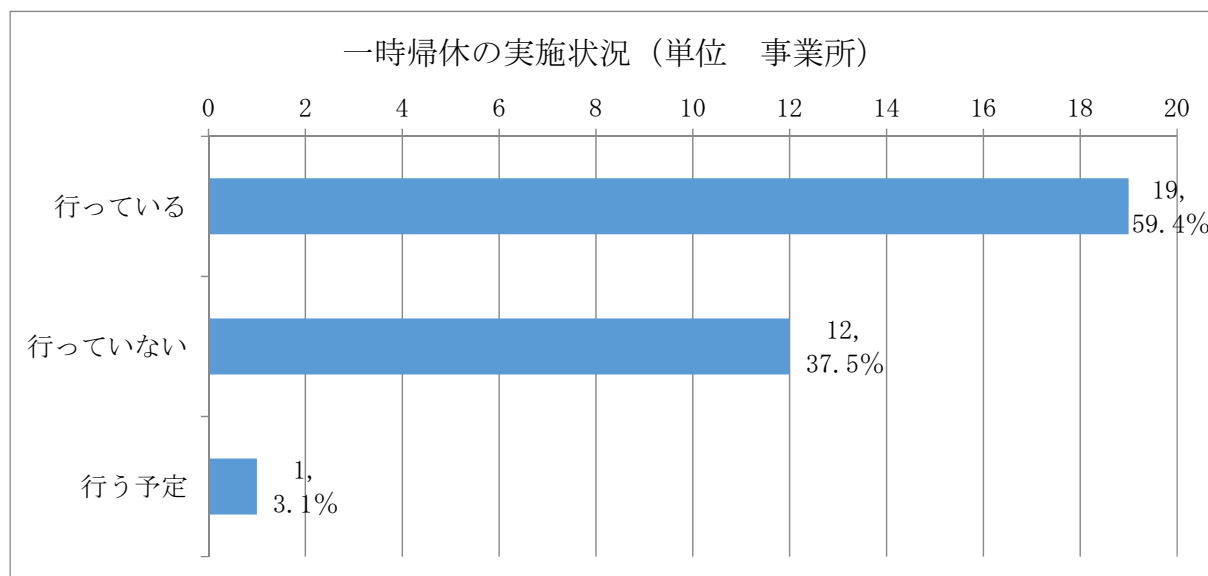
新型コロナウイルス感染症の影響により、優先的に取り組みたい事項として「コロナウイルス感染症対策の強化」及び「新分野への進出・販路開拓」が最も多かった。続いて「商品・サービスの提供方法の見直し」、「製品開発・業務効率化のための設備投資」となっている。with コロナ・after コロナを見据えた対応を進めている。



(3) 一時帰休は行っていますか。【有効回答数 32 社】

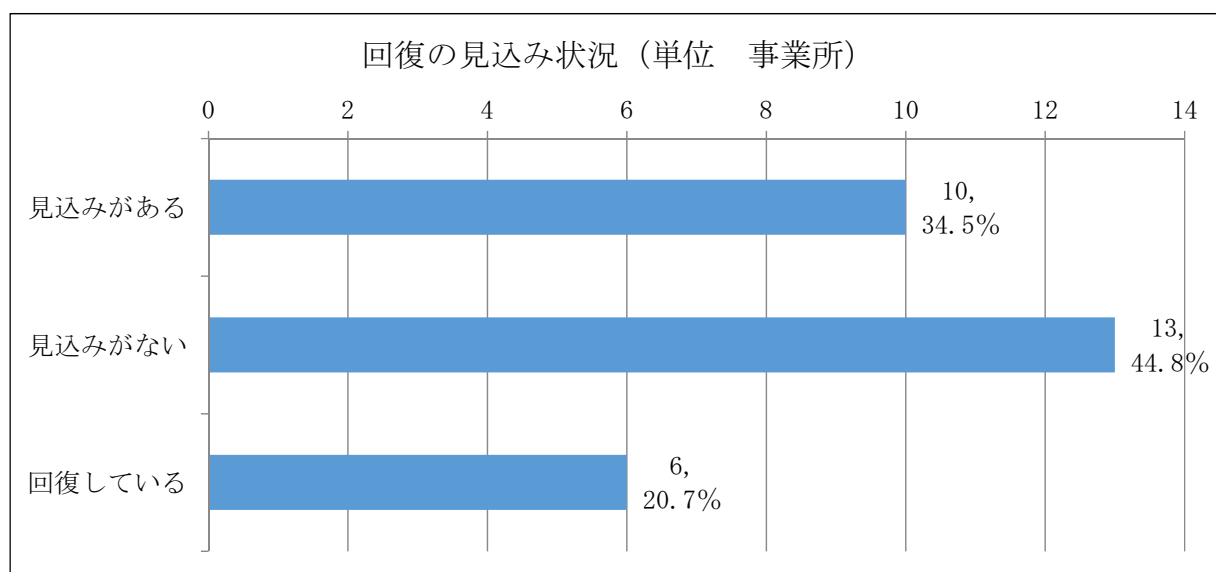
一時帰休の実施状況については、「行っている」が 19 事業所 (59.4%)、「行っていない」が 12 事業所 (37.5%)、「行う予定」が 1 事業所 (3.1%) となっている。

なお、現在一時帰休は行っていないが、5月から10月まで実施していた1事業所あり。



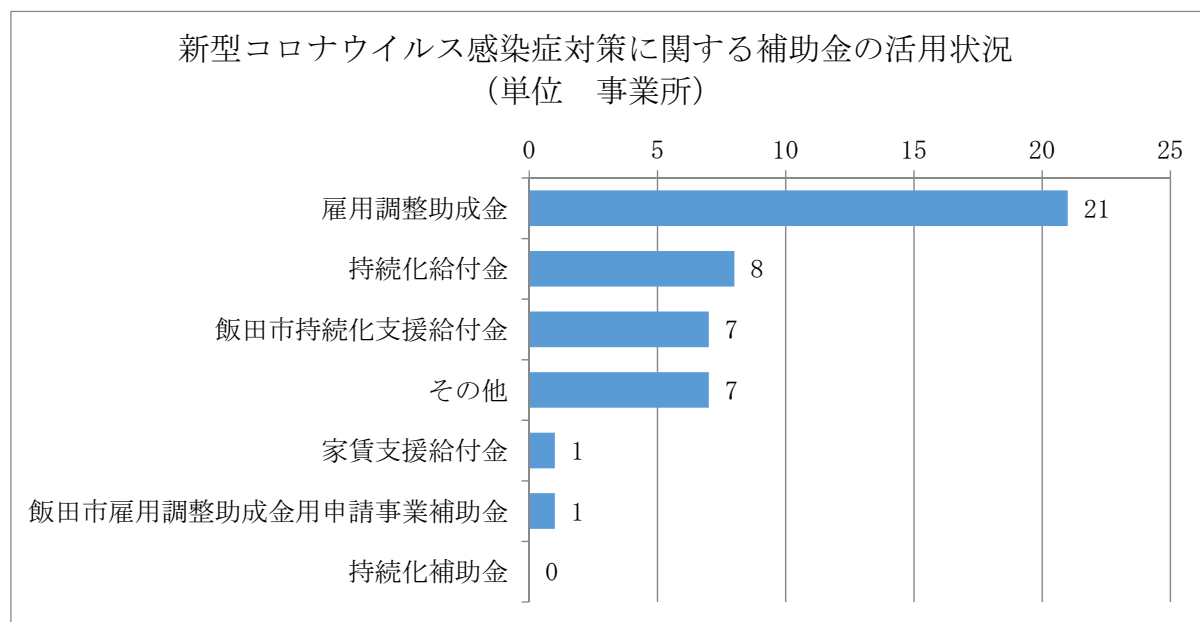
(4) 回復の見込みはありますか。【有効回答数 29 社】

新型コロナウイルス感染症からの回復見込みについては、「見込みがある」10 事業所 (34.5%)、「見込みがない」が 13 事業所 (44.8%)、「回復している」が 6 事業所 (20.7%) であった。令和 2 年度下半期から回復の見込み及び回復をしている事業所があった。



(5) 新型コロナウイルス感染症対策に関する補助金等を活用しましたか。【有効回答数 27 社】

新型コロナウイルス感染症対策に関する補助金の活用状況については、「雇用調整助成金」が最も多く、続いて「持続化給付金」、「飯田市持続化支援給付金」、「その他」となった。帰休を実施している企業が多いことから、「雇用調整助成金」の活用状況が高くなっている。その他としては、「新しい生活様式定着支援補助金」の回答があった。



(6) 影響が出始めてから現在はどうな状況にありますか。(自由記述)

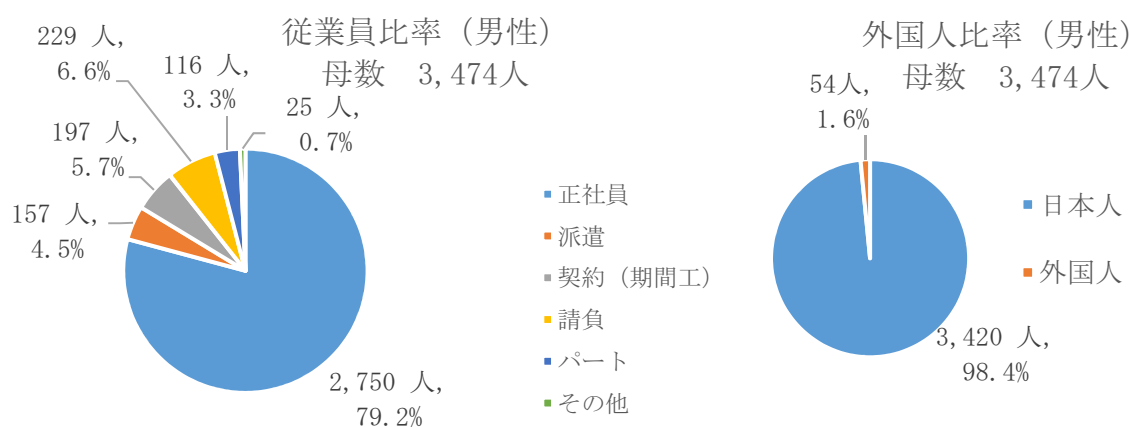
- 業界が少しずつ動き始めたが、元に戻ることは不可能だと思われる。
- 下請けであるため、コロナの影響が大きく、帰休も始めざるを得なかった。
- 技能実習生の受入が遅延している。
- 国によって復調の度合いにバラツキがある。
- プレス金型の設計・製造・試作はコロナに影響なく、継続的に増加傾向である。
- 機械加工関連の仕事は未だに回復基調が見られない。
- 売上には現在影響はないが、営業活動に制限が出てきており、今後その結果がどう現れてくるかが心配。
- 得意先によっては回復基調にあるが、工業系の得意先は全体的に回復が遅れている。
- 受注は回復してきており特に問題は無い。
- 国内回帰の影響で、受注量が増えている傾向にある。アウトドア・家電関係が好調。
- 顧客メーカーは受注回復傾向にあり、前年より水準が低い、年明けも回復傾向が維持されそう。

Ⅲ 雇用について

(1) 最近の人員の状況についてお答えください。(令和2年11月1日現在)【有効回答数32社】

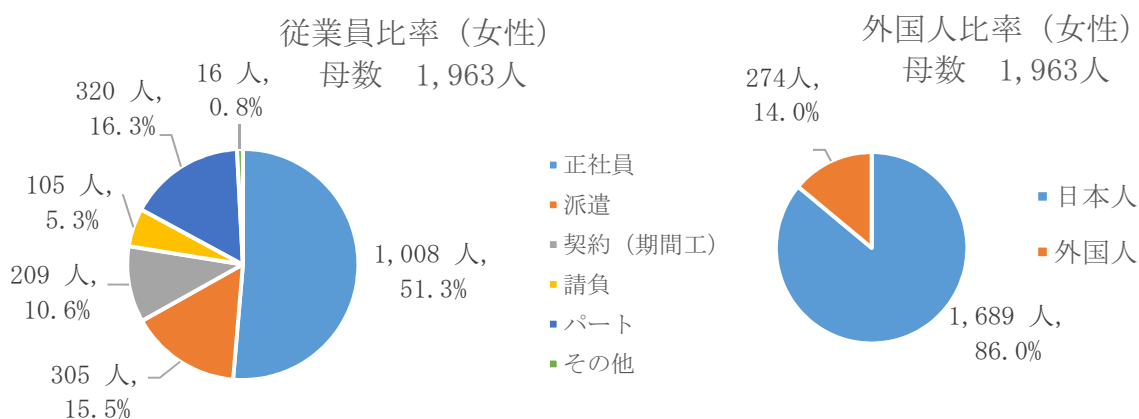
従業員の構成比率について、男性では、「正社員」が最も多く79.2% (2,750人)、続いて「請負」6.6% (229人)、「契約(期間工)」5.7% (197人)、「派遣」4.5% (157人)、「パート」3.3% (116人)、「その他」は0.7% (25人)である。また、外国人比率は1.6% (54人)となっている。

昨年度11月調査では、「正社員」が最も多く76.0% (2,344人)、続いて「契約(期間工)」7.5% (231人)、「請負」7.4% (227人)、「パート」4.5% (133人)、「派遣」4.1% (127人)、「その他」は0.5% (15人)である。また、外国人比率は1.5% (45人)である。

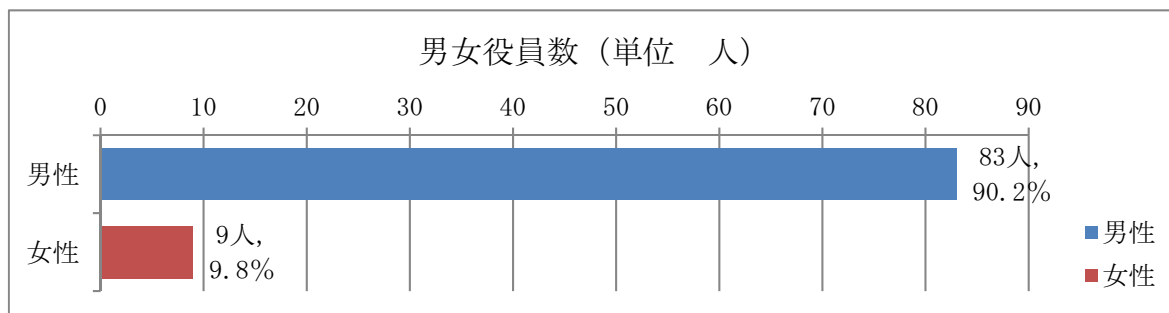


従業員の構成比率について、女性では、「正社員」が最も多く51.3% (1,008人)、続いて「パート」16.3% (320人)、「派遣」15.5% (305人)、「契約(期間工)」10.6% (209人)、「請負」5.3% (105人)、「その他」0.8% (16人)である。また、外国人比率は14.0% (274人)である。

昨年度11月調査では、「正社員」が最も多く47.8% (818人)、続いて「パート」19.7% (338人)、「契約(期間工)」12.8% (219人)、「派遣」12.3% (211人)、「請負」6.0% (103人)、「その他」1.4% (24人)である。また、外国人比率は13.0% (222人)である。



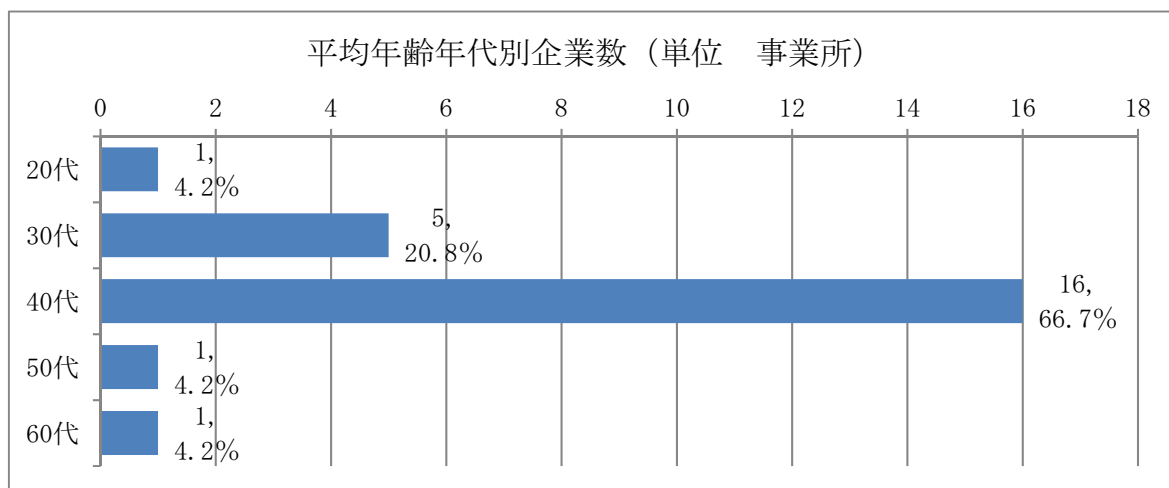
(2) 男女役員数についてお答え下さい。【有効回答数 19 社】



※参考 昨年度 11 月調査では、全体 123 人のうち、男性が 110 人 (89.4%)、女性が 13 人 (10.6%) であった。

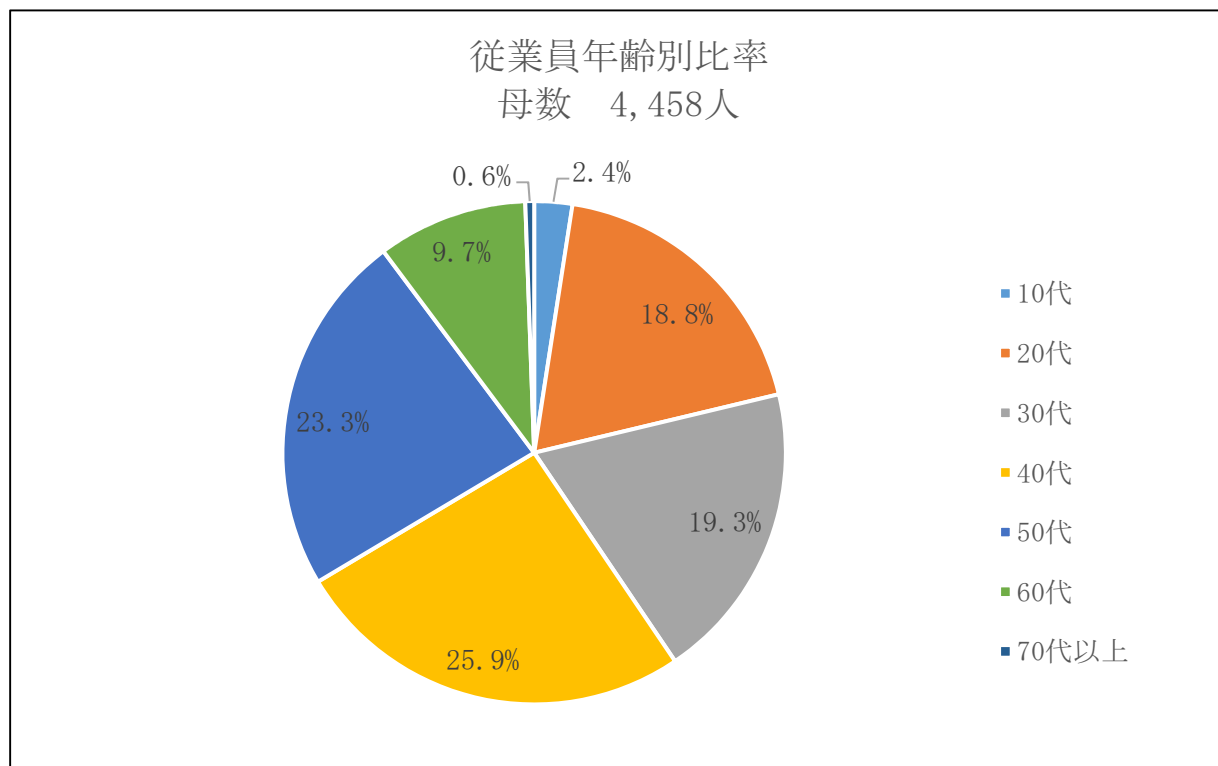
(3) 最近の人員の年齢層についてお答えください。(令和 2 年 11 月 1 日現在)

【有効回答数 24 社】



※参考 昨年度 11 月調査では、「20 代」が 1 事業所 (3.7%)、「30 代」が 7 事業所 (26.0%)、「40 代」が 15 事業所 (55.6%)、「50 代」が 3 事業所 (11.1%)、60 代が 1 事業所 (3.7%) であった。

年齢別の従業員数では、「10代」が2.4%（109人）、「20代」が18.8%（839人）、「30代」が19.3%（859人）、「40代」が最も多く25.9%（1,155人）、「50代」が23.3%（1,040人）、「60代」が9.7%（431人）、「70代以上」が0.6%（25人）であった。40代～60代までで約6割近くであり、従業員の高齢化が課題となっている。【有効回答数 32社】

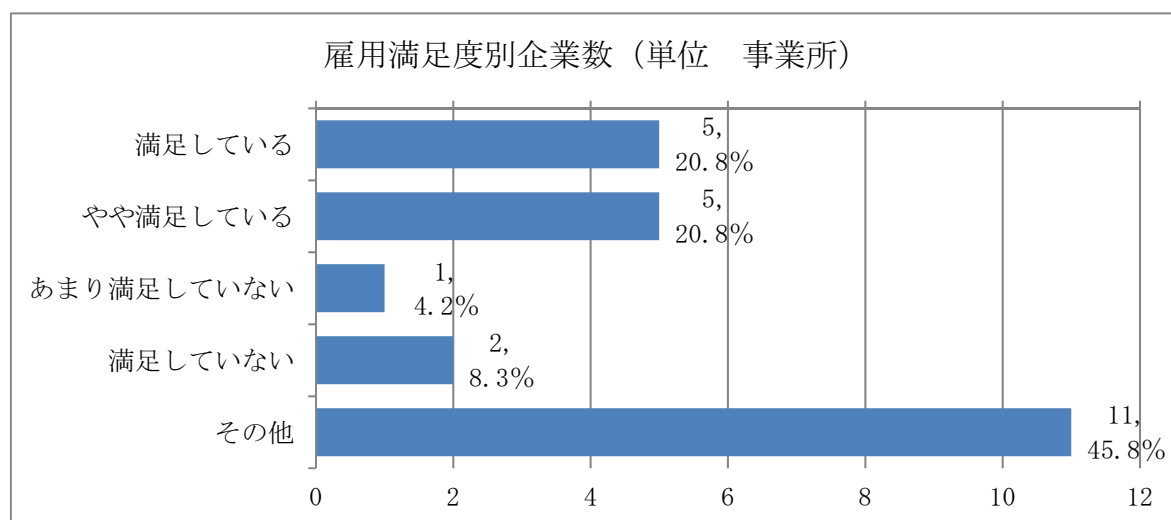


※参考 昨年度11月調査では、「10代」が1.9%（65人）、「20代」が18.0%（625人）、「30代」が18.0%（628人）、「40代」が最も多く27.3%（949人）、「50代」が23.8%（827人）、「60代」が10.3%（359人）、「70代以上」が0.8%（27人）であった。

(4) 採用予定について

① 令和3年度の採用予定者数に対する満足度についてお答えください。【有効回答数 24 社】

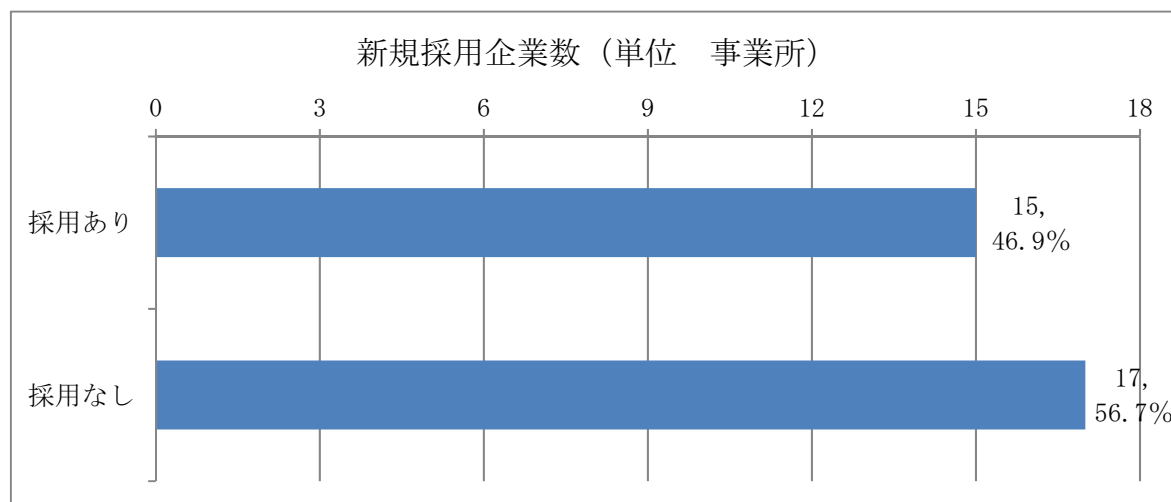
「その他」では、採用を予定していないという回答が多かった。



② 令和3年4月の採用予定者数は、何人ですか。(採用内定者の状況もお答えください)

【有効回答数 32 社】

昨年度調査時と比較して、採用なしの企業が増えている。

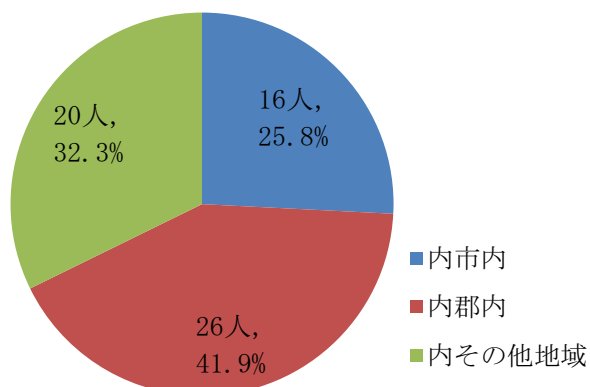


※参考 昨年度11月調査では「採用あり」と回答した事業所は、17事業所(56.7%)、「採用なし」と回答した事業所は、13事業所(43.3%)であった。

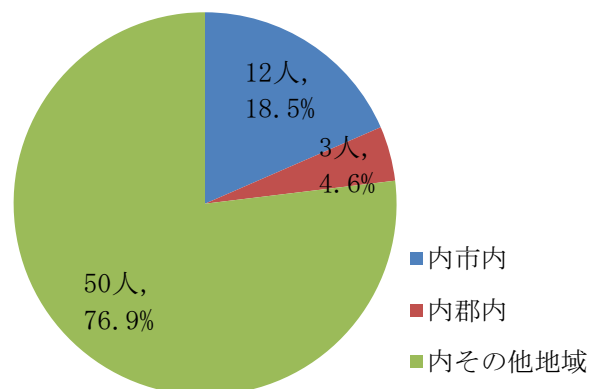
大卒採用予定者は、回帰率が少ない一方で他地域からの採用が多く占められている。

【有効回答数 17 社】

高卒採用予定者における
市内出身者数等（単位 人）



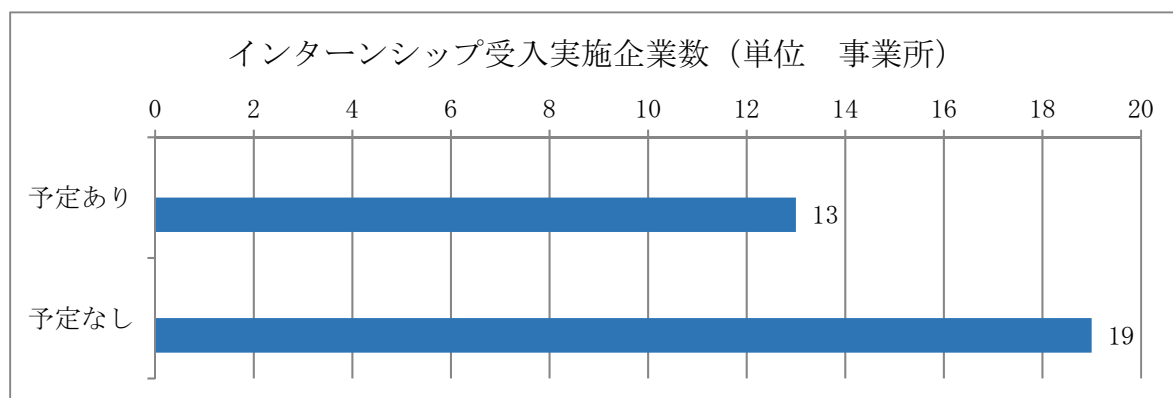
大卒採用予定者における
市内出身者数等（単位 人）



※参考 昨年度 11 月調査では、高卒採用予定者数は 69 人であり、そのうち 66.7%にあたる 46 人が内定者となっている。内定者のうち「市内出身者」は 29 人（63.0%）、「郡内出身者」は 14 人（30.4%）、「その他地域」は 3 人（6.5%）であった。一方、大卒等採用予定者は 55 人であり、そのうち 83.6%にあたる 46 人が内定者となっている。内定者のうち「市内出身者」は 10 人（21.7%）、「郡内出身者」は 2 人（4.3%）、「その他地域」は 34 人（73.9%）であった。

③ 令和3年度にインターンシップの受け入れを行う予定はありますか。【有効回答数 32 社】

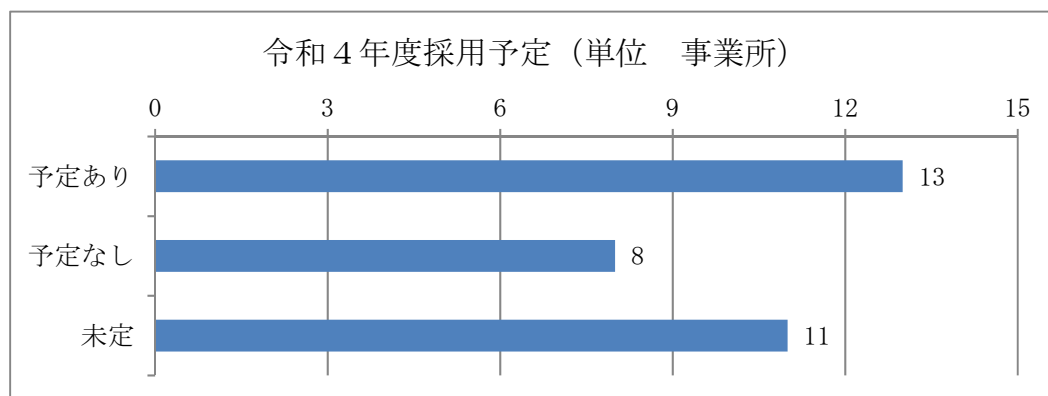
新型コロナウイルス感染症によりこれまで受け入れを行っていた事業所で受け入れを行わないとの回答があった。



④ 令和4年度の採用予定はありますか。【有効回答数 32 社】

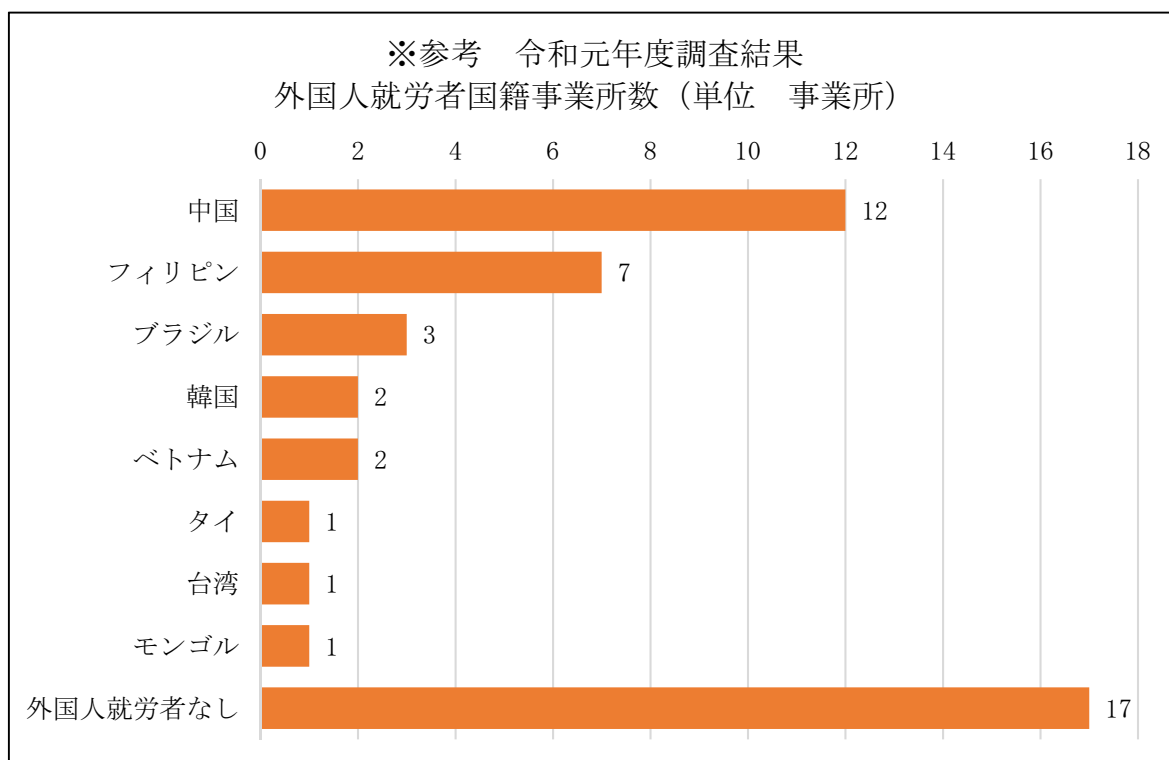
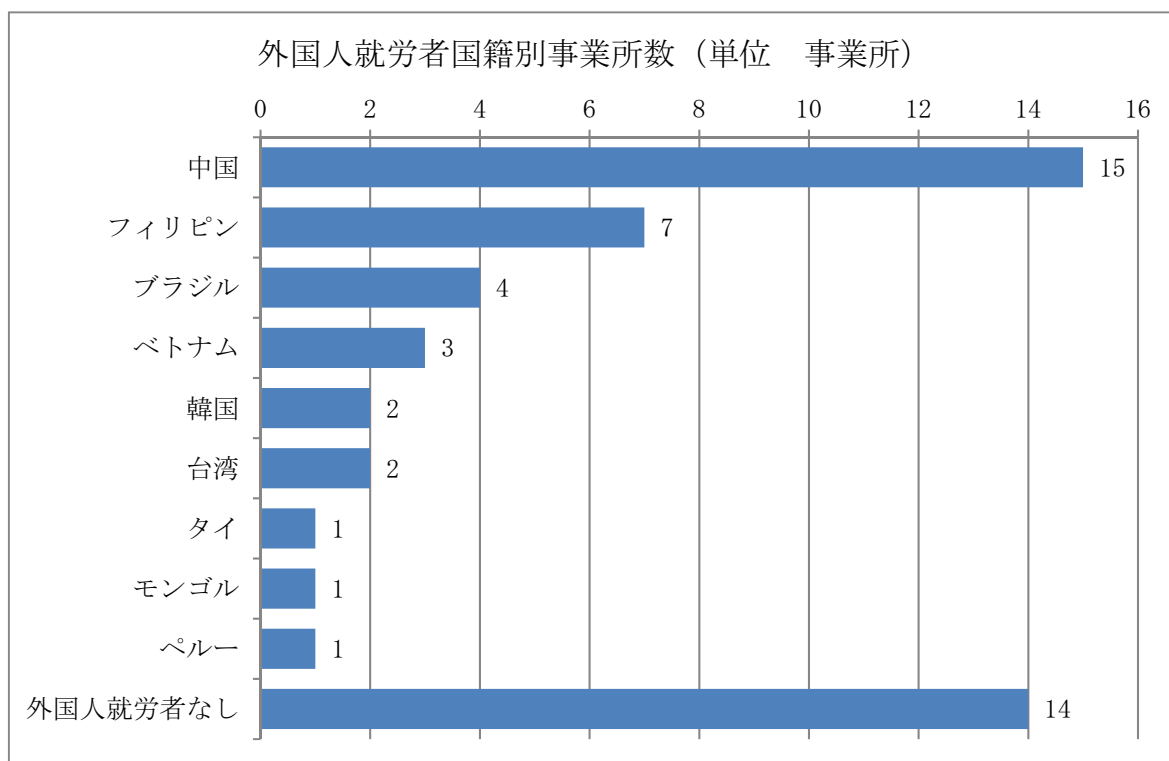
今回初めて2年後の採用予定まで調査を行った。

令和3年度の採用予定と比較してもほぼ同様の事業所が予定していると回答しているが、未定という事業所も多く、先行きの不透明さが要因と思料される。



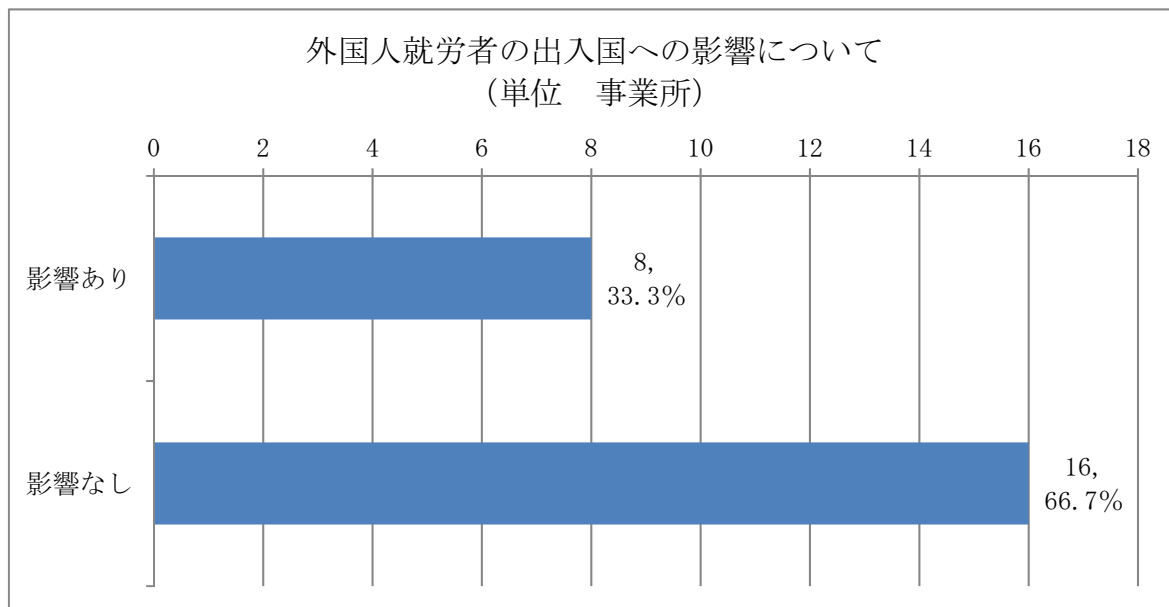
(5) 外国人就労者について

① 外国人就労者の国籍はどこですか。【有効回答数 32 社】



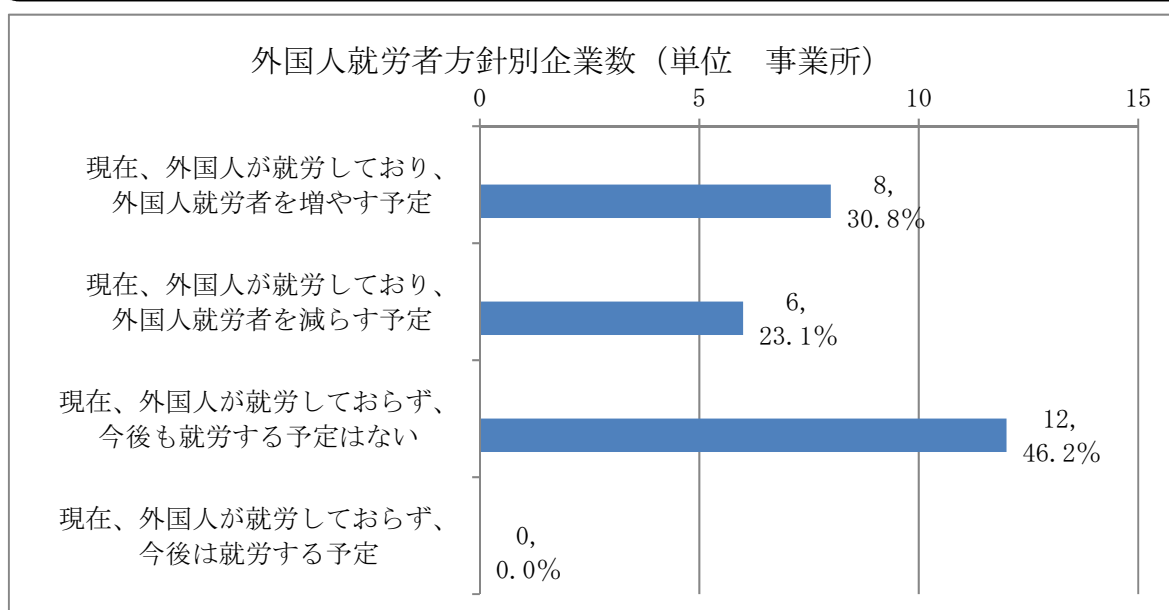
② 新型コロナウイルス感染症により、外国人就労者が帰国や入国ができないという影響はありますか。【有効回答数 24 社】

関連会社の人材や技能実習生が入国できない、技能実習生が日本国内での新型コロナウイルス感染症の流行を懸念して帰国するなどの影響が出ている。



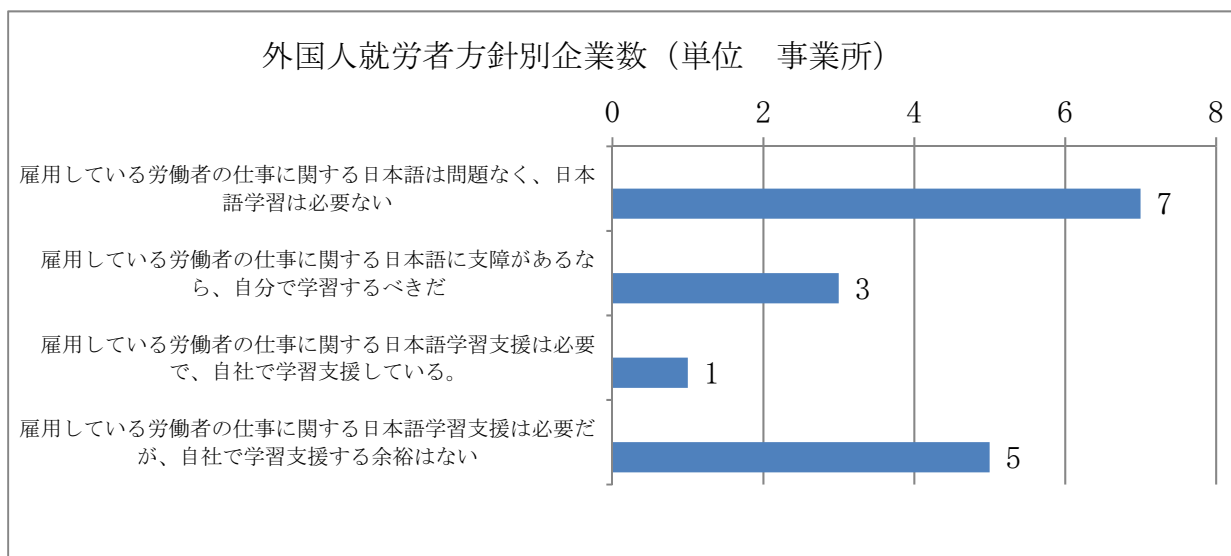
③ 外国人雇用に対する今後の予定を教えてください。【有効回答数 26 社】

回答をいただいた事業所の半数以上にて外国人が就労している。
現在、外国人を雇用している事業所について「減らす予定」と回答した理由として、新型コロナウイルス感染症の影響による業況の悪化がほとんどであった。



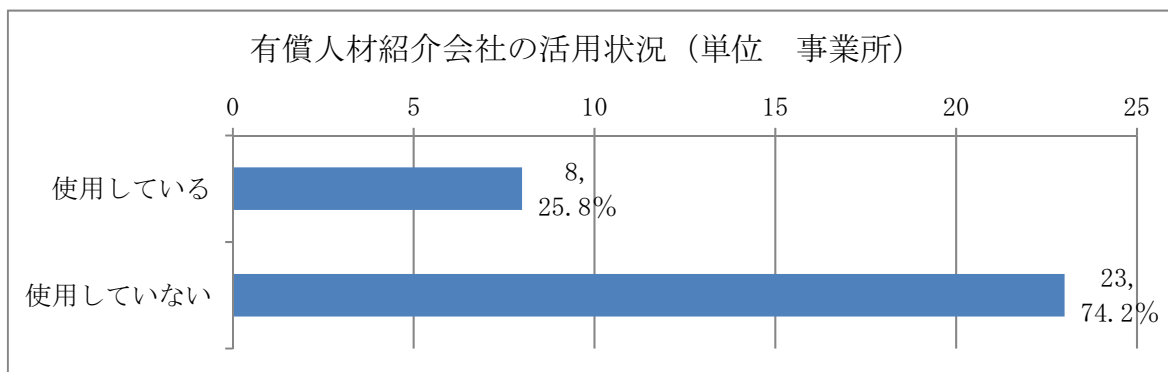
④ 雇用している外国人労働者への日本語学習支援について教えてください。

【有効回答数 16 社】



(6) 有償の人材紹介会社を活用していますか。【有効回答数 31 社】

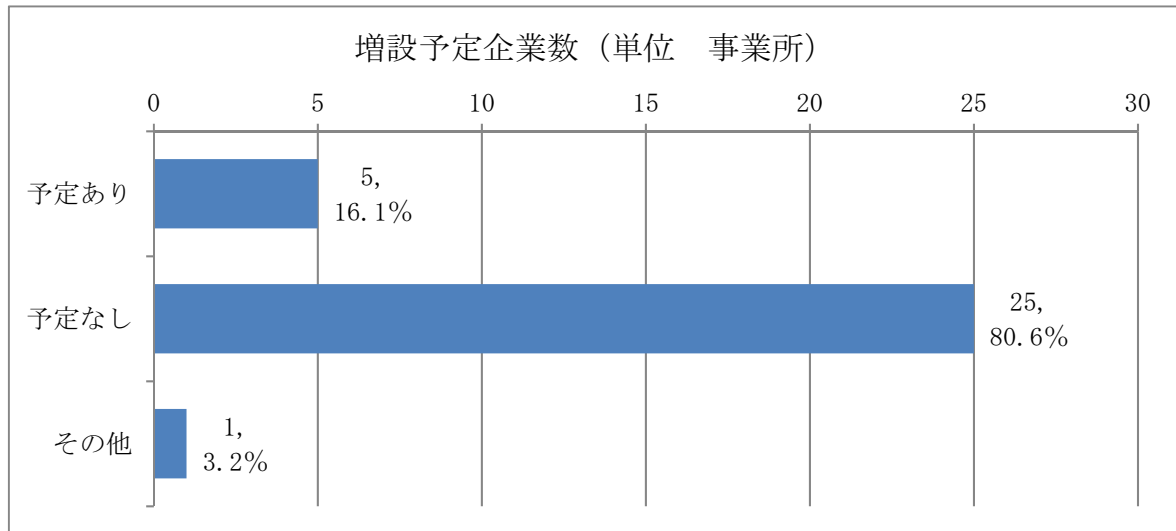
有償の人材紹介会社を活用しているところは、約 2 割とそれほど多くない状況である。
活用している事業所では、リクルートやマイナビなどが挙げられた。



IV 工場増設・設備投資等について

今後、工場増設の予定について【有効回答数 31 社】

約 8 割近くの事業所では設備投資を控えるまたは様子見が多い。
増設予定の内容としては、工場新設、設備導入に伴う増設などである。



※参考 昨年度 11 月調査では、「予定あり」が 7 事業所（23.3%）、「予定なし」が 21 事業所（70.0%）、「その他」が 2 事業所（6.7%）であった。

V その他

飯田市などへのご要望等がございましたらご記入ください。(自由記述)

<若者が帰ってこられる産業づくり>

○若者が就労したい、技術を生かした、子どもに就職させたい、と思えるような「企業」増やすこと。

○既に実施されていると思いますが、17~22歳位を対象にどうあればこの地域に帰ってこようと思うのか調査をし、調査結果を基に地域全体での検討が必要。

○Iターンは、人取り合戦的な状態となっているため、Uターンに力を入れた方が良いのでは。

○若者が帰って来られる産業づくりと同時に興味を持って住みたい(集まる)まちづくりが必要ではないか。

○県内でも南信は特に給料が低いため、名のある企業を誘致する必要がある。

○企業誘致を進めて頂きたい。働く場所がないとIターン・Uターンができない。

<座光寺スマート IC>

○高森工場があるため、使用頻度が増えると思われる。

○東京方面の利用として使うことになり、便利になると思っている。

<その他>

○(公財)南信州・飯田産業センターに設置されている共同受注グループ(NESCU)などを活用して販路拡大を進めてほしい。

○エス・バードに施盤等を入れて、若手の訓練を行う等の実践的な場としてほしい。

○エス・バードが人形劇など当地域の魅力が発信できる場になるとメリットが大きい。

○食品の製造現場の悩みを聞いてもらえる機会が欲しい。

○高校生に企業名のPRや事業内容を知ってもらう為、引き続き「つなぐ」事業をお願いしたい。

○コンテナ車がすれ違える道路幅とするため、陸路の整備。

○新型コロナウイルスに感染しても差別しないような環境作りが本当に大切である。